

北海道・南富良野

& 観光

# ワカサギ釣行

## 2泊3日の釣行

1月20日、北海道・南富良野へ、釣り仲間3人と泊三日の釣りの旅に出かけた。

午前7時に開空を出発。午前10時前には千歳空港に到着した。LCC・ピーチが就航したおかげで、北海道への釣行も約1万円と、身近なものとなった。

早速、レンタカーに乗り込み、目的地の南富良野のかなやま湖へと向かう。途中、最低気温がマイナス30度にもなるという占冠(しむかつぶ)に立ち寄り、北海道の本格的な寒さを体感した。ただ、この日の気温はマイナス4度で、地元の人「暖かい」と言っていたのには驚いた。



釣った後は天ぷらにして食味をたん能♪

## ワカサギ釣り

とに、JR富良野駅、プのコース料理。ふらのワリンスホテル横の森には、インで乾杯し楽しい一夜クラフト小屋が並ぶニンを過した。

「こ」では、手ぶらで釣りが楽しめる「ワカサギ釣りツアー」を運営している。私たちも釣りサオ仕掛け、エサなどの全てを用意してもらいテントの釣りに到着。中に入る

と氷に丸い穴が開けられていた。氷の厚さは約30センチで、水深は8センチ。エサのサバ虫をセットして底まで落とす。テント内

は風もなく軟調の功。3人で50匹を超える糖先に鮮やかな魚信が伝わってくる。お昼を迎えたところ



湖の上にはテントが

## 3人で50匹の釣果に

は食いが淡いのか掛からない。地元

の釣りに聞く。と、このような時は早めにアワセを入れるといいとのこと。

コツが分ったので1匹目を上げると、コンスタントに釣れた。その後、群れの回遊に当たり、5連で釣り上げることに成

は風もなく軟調の功。3人で50匹を超える糖先に鮮やかな魚信が伝わってくる。お昼を迎えたところ

造られたもので、春になり氷がとけると、下流ではニジマスやヤマメ。上時にはやさしリリス



テント内にはすでに穴が開けられており、すぐに釣りを始めることができる

遙か遠方には真っ白に輝く十勝岳も望めマイナス5度の中、夢中でシャッターを押し夕暮れとな

「ぼや」のロケ地、機嫌の飛行機まで時間を駅を訪れた。当時のセツトがそのまま残されてお

1月22日、ホテルラ子を出発し南富良野の道の駅にお土産を買いに立ち寄り、中に入ると天

その後、夕刻まで時間があったので、北富良野の高原へ行ってみた。「こ

LCC・ピーチを利用して、北海道までお手頃に

▼問い合わせ かなやま湖口ホテルラ子 0167(52)3100番。釣りのツアー1スリバーアドベンチャーズ 0167(38)4150番。クイックレンタカー 0123(40)0919番。(フィッシングエイト 中井昭博)

その後、帰阪。これで3日間の釣りの旅は無事終となったが、北海道の釣りが手軽に楽しめることが分かった。また雪解けの季節に釣行してみたいと思っ

「ぼや」のロケ地、機嫌の飛行機まで時間を駅を訪れた。当時のセツトがそのまま残されてお